

### 具体例3 「授業研究」

《ねらい》

研究授業の後に授業研究が行われるが、パターン化したり、形骸化し、授業観察者の参加意識の低い場合もよく見られる。授業の分析に授業者、参観者が積極的に参加することで、気づきや意見が反映され、授業の成果や課題、改善方法が明確になる。

テーマ『付箋紙を活用した授業研究（その1）』

《時間》

1時間30分

《研修技法》

カードBS→概念化シート→KJ法

《方法》



- ①授業の前に参観者には付箋紙を渡し、授業を観察しながら気づいたことをどんどん付箋紙に記入することを指示する。ただし、1枚につき意見・感想も一つとする。
- ②授業者は、授業前に本時の授業のねらいや工夫したところ、参観者に意見や助言をもらいたいポイントを説明する。
- ③授業を観察する。気づいたことや感想をどんどん付箋紙に記入していく。
- ④授業終了後の協議会では、4～6人のグループに分かれる。司会者の指示により、付箋紙に記入したことを「概念化シート」に貼っていく。  
貼る際には、短いコメントをつけて貼っていく。（グループ内のコミュニケーションを円滑にする）



- ⑤全部貼り終わったら、4つのゾーンごとに同じ内容の物を集めたりしながら整理・構造化していく。まとめられたグループは囲んでタイトルをつける。
- ⑥ネガティブゾーンのグループについては、問題点や課題の指摘にとどまらず、メンバー間で具体的な改善案を検討し、提案する。（様々なアイデアを提供する。）
- ⑦各グループの代表者が3分間で作業の成果を発表する。「改善案」の提案を念頭に置き、良

かったところについては、具体的な理由をつけて発表する。

⑧授業者による感想発表。参加者による授業分析をどう受け止めたのかを語る。

⑨講師によるまとめ

## テーマ『付箋紙を活用した授業研究（その2）』

### 《時 間》

1時間30分

### 《研修技法》

カードBS→KJ法

### 《方 法》

①授業の前に参観者には付箋紙を渡し、授業を観察しながら気づいたことをどんどん付箋紙に記入することを指示する。ただし、1枚につき意見・感想も一つとする。

②授業者は、授業前に本時の授業のねらいや工夫したところ、観察者に意見や助言をもらいたいポイントを説明する。

③授業を観察する。気づいたことや感想（授業者の指導、子どもの様子など）をどんどん付箋紙に記入していく。記入した場面が分かるように指導案のその場面に付箋紙を貼っていく。

（下図参照）

学習活動	主な発問（○）・指示（△） 予想される反応（・）	留意点（・）、評価（◎）
1 教師の発問を聞き、答えを予想する。	○今からさいころを振って、2, 3, 4の目が出たら豪華賞品をあげます。 導入に工夫している 発問が聞きにくい	・予想の後、目の出方が平等ではないさいころを提示する。ふつうのさいころは目の出方が平等であることを意識させる。
2 2枚のコインを投げたときの出方について考える。	組み合わせにはどんな組み合わせがありますか。 ・表と表、表と裏、裏と裏 生徒は夢中になって取り組んでいた。	・いろいろなさいころを同時に投げようとい

④授業終了後の協議会では、4～6人のグループに分かれる。

各グループに指導案の拡大コピーを配布し、各自、授業参観で貼った付箋紙を拡大指導案に貼っていく。

⑤全員貼り終わったら、貼った付箋紙の場所ごとに、メンバーで話し合いながらグループ化できる物はグループ化し、線で囲み、見出しを付ける。

⑥グループ化した物を見て、メンバーで話し合い、「よかったところ」や「改善案」についてまとめる。

⑦まとめたことを各グループが発表する。

⑧授業者に感想を語ってもらう。（授業前に発表した本時のねらいが達成できたか、できなかったとしたらどこに問題点があったのか、工夫した点に対して生徒の反応はどうだったか、各グループから出た発表を聞いてどんな感想を持ったか、など）

